



平成 31 年 3 月 29 日
スモウルビー・プログラミング甲子園 開催実行委員会
委員長 まつもとゆきひろ

第 4 回スモウルビー・プログラミング甲子園 開催報告

平成 31 年 3 月 23 日(土)、島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」(島根県松江市) 国際会議場ほかにて、第 4 回目となる「スモウルビー・プログラミング甲子園決勝大会」を開催しました。主催は、スモウルビー・プログラミング甲子園開催実行委員会(構成機関:島根県、松江市ほか)、その他、多くのご支援をいただき実施しました。



IT 人材の裾野を広げること、Ruby 及び島根県の PR を目的に昨年に引き続き開催した「スモウルビー・プログラミング甲子園」は、参加資格を高校生以下の個人又はグループ(平成 12 年 4 月 2 日以降生まれの方)とし、平成 30 年 9 月 3 日(月)から平成 31 年 1 月 11 日(金)の期間、スモウルビーで作成した本大会ゲーム用の AI プログラムを募集し、島根県内外から 143 件の応募があり、平成 31 年 1 月 21 日(月)から平成 31 年 1 月 25 日(金)に予選大会を実施しました。決勝大会には、昨年の倍となる予選上位 24 組(島根県内:13 チーム/20 名、島根県外:11 チーム/24 名)が出場し、来場者数は 235 名を数えました。

オープニングでは、まつもとゆきひろ実行委員長、溝口善兵衛島根県知事、NPO 法人 Ruby プログラミング少年団理事長 高尾宏治さん、ゲストの池澤あやかさんの挨拶に続き、記念講演をおこなっていただく株式会社 Progate 代表取締役の加藤将倫さんにご挨拶をいただきました。続いて、株式会社ネットワーク応用通信研究所の黒谷さんにルール説明を行っていただいた後、出場者の登壇・紹介・マスター認定証の授与、池澤あやかさんの掛声と共に決勝大会がスタートしました。



まず、開放的な雰囲気の中、東西コート 2 つに分かれてベスト 4 進出の 4 組を決める決勝大会ブロック予選を実施。両コートとも歓声が沸き起こる中、白熱した試合が繰り広げられました。

また、株式会社 Progate 代表取締役の加藤将倫さんによる「プログラミングで人生は変わる」と題した記念講演がおこなわれました。



準決勝 2 試合、敗者同士による特別賞決定トーナメントで勝ち上がった上位 2 チームによる特別賞決定戦、決勝戦は、来場者や全出場チームが注目する中、照明・音響演出も相まったメインステージで実施。更なる盛り上がり、歓声、響めきの中、熱戦・烈戦が繰り広げられ、決勝戦は愛媛県の松山工業高校から出場の「みかん 松山工業高校」と、「じゃこてん 松山工業高校」さんによる同校対決となり、「みかん 松山工業高校」さんが、見事、第 4 回大会チャンピオンの栄冠を手に入れました。その他、国際会議場前には、プログラミング体験などができる IT 体験コーナーを設け、来場者の皆さんに楽しんでいただきました。



表彰式では優勝「みかん 松山工業高校」さん、準優勝「じゃこてん 松山工業高校」さん、第 3 位「篠崎 侑雅 松山工業高校」さん、「サムムとゆかいな仲間たち」の皆さん、特別賞「たいめし 松山工業高校」さんに、賞状・目録・記念盾がまつもとゆきひろ実行委員長、池澤あやかさん、高尾宏治さんよりそれぞれ贈られ、更に今大会では、記念講演をいただいた株式会社 Progate 代表取締役の加藤将倫さんより「Progate 賞」が「こてつ」の皆さんに贈られました。そして、まつもとゆきひろ実行委員長の総評の後、池澤あやかさんと出場者の皆さんで来年のスモウルビー・プログラミング甲子園に向けてのエールで閉幕しました。